

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

コミュニティ

基本的な考え方と取り組み	60
目標と実績	60
CSR コアプロジェクト	61

基本的な考え方と取り組み

安定した事業活動を運営し、よりよい製品・サービスを生み出していくためには、地域コミュニティの発展に貢献し、強い信頼関係を構築することが極めて重要です。

ゼオンの社会貢献の考え方

社会貢献とは本来、本業を通じて行うことが基本と考えていますが、企業が社会の一員である以上、山積する社会的課題と企業活動は無関係ではありません。ゼオンでは、より広い視野を持って社会とかわるために、本業以外の社会貢献活動にも取り組んでいます。

2012年には、グループ全社に公募した中から選考し「CSR

コアプロジェクト」として開始しました。CSR コアプロジェクトは、本業以外の社会貢献を象徴する活動として、社員が社会に目を向ける機会にもなっています。

東日本大震災復興支援に関する各種活動と、各事業所・グループ会社で共有する共通プロジェクトを企画するとともに、各事業所・グループ会社が従来から独自に行っている社会貢献活動を加えて3つのカテゴリーでとらえ、相乗効果も意識しながら展開しています。

目標と実績

2020年のありたい姿 ＝「社会の期待に込めている」状態を目指す	現在実施している具体的活動 (■：完了、△：継続実施)	今後実施すべき検討事項
【ボランティア活動の積極的推進】	△東北復興支援ボランティアツアー △ボランティア活動推進体制の整備と強化 (ボランティア休暇制度) △ボランティア活動の紹介と参加推進・支援 (震災復興・復興支援ボランティア等) △寄付・チャリティ活動(ジャパンプラットフォーム、赤十字等)	1. 社員の社会貢献意識改革 ・CSR説明会などのCSR教育の実施 ・グループを横断する社会貢献ポリシーを掲げる 2. ボランティア支援の制度化(ボランティア登録制度等) 3. 地域の社協、NGO／NPOとの交流から社会貢献の機会を見出す。
【地域社会と共存・共生のための活動による良好な関係構築】	△「コアプロジェクト」(グループ体、事業所間、事業所独自の社会貢献活動)の推進 △地域社会と交流を持ち良好な関係を維持する ・地域の祭典・イベントの主催 (事業所主催納涼祭開催など)および参加 ・地域清掃活動 ・事業所見学会 (工場参観受け入れ、インターンシップへの協力)	1. グループとしての活動ポリシーを明確にして「コアプロジェクト」を推進する。 社会貢献活動の見直し(対象を見直すのか、目標を見直すのか、目標の場合はSDGsの17目標への貢献視点で見直す) 2. 地域社会との交流を維持し拡大 する。 3. 地域社会をはじめとするステークホルダーとの対話を通じて社会の期待を特定し、期待への現状把握および目標設定を行う。
【技術の開発及び技術へのアクセス】 ・社会のニーズの「探索」と、独創的な技術や他人がまねのできない製品をベースにしたシーズの「深耕」により新規事業を創出し、社会に貢献する。		1. 研究開発部門、事業部門での「深化」と「探索」の取り組みを続ける。

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

古河奨学金

古河記念基金は、経済的理由によって修学困難な学生（日本人、外国人）に対して奨学金を給付する、50年の歴史を持つ

た公益財団法人で、当社も活動支援のための取り組みを継続的に行っています。

これまでに延べ 3,236 名の方が受給しています。

CSR コアプロジェクト

本業以外の社会貢献を象徴する活動として取り組んでいます。

CSR コアプロジェクトの取り組み状況

プロジェクト	具体的な取り組み状況	2020 年度目標
東日本大震災復興支援		
復興支援ボランティアツアーへの参加	2012 年 10 月より開始 2020 年 3 月までに 66 回実施 (延べ 538 名参加) 災害復旧支援 (南三陸、陸前高田)、農業支援 (いわき)、漁業支援 (気仙沼) 等	取り組みの継続 (目標頻度は年 4 回)
「食べて応援しよう」キャンペーン	被災地産食材の積極的利用による産業復興 応援 社員食堂、Z ぶらざ (社員用ラウンジ) において東北産メニューを展開中	取り組みの継続
「いのちを守る森の防潮堤」*活動への参加	「大槌町『平成の杜』植樹会」(主催: 横浜ゴム/岩手県大槌町) に 2013 年度より協賛・参加	2015 年度にて植樹会は終了。植樹後のメンテナンス等を通じて大槌町とのつながりを継続
共通プロジェクト		
化学教室	夏休みイベント、地域住民の事業所見学での実験教室開催 本社: 夏休み子ども化学実験ショー (2013 年度より 2017 年度まで参加) 徳山工場: 親子向け産業観光ツアーでの実験教室 ゼオンケミカルズ米沢: 「青少年のための科学の祭典 in 山形」での実験教室 高岡工場、川崎工場: 工場見学会での実験教室、地元小学校への出前授業 研究開発センター: 川崎市の夏休み自由研究講座	化学実験教室の展開 (事業所での実施を増やす) 実験内容の拡充 (実験パッケージの新規作成)
エコキャップ運動 (PET ボトルキャップ回収)	2012 年度よりグループ全社でカウント開始	取り組みの継続
事務用品のグリーン購入	環境負荷の少ない事務用品を購入 (ノート、製本テープ、持ち出しフォルダー等、グリーン購入法該当の 44 品目中、22 品目 (50%) を切り替え)	取り組みの継続
独自プロジェクト		
各推進委員会にて課題設定	地域社会とのかかわり 地域行事への参加: 各種イベントの主催・協賛 清掃活動 教育支援: インターンシップ受け入れ、学校への講師派遣等	取り組みの継続

* いのちを守る森の防潮堤
東日本大震災に伴う津波によって被害を受けた沿岸部に、被災瓦礫と土を混ぜて高台をつくり、そこに土地本来のさまざまな樹木を植えて多層構造の森を形成して、津波への防潮機能を高める活動

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

取り組み事例

CSR コアプロジェクトの取り組み事例を紹介します。
その他地域社会への取り組みについてはサイトレポートでも多数、報告しています。

東日本大震災復興支援ボランティア

一般の復興支援ボランティアツアーへの参加者を公募し、継続的に社員を派遣しています。費用の全額を会社負担として、社員参加を積極的に後押ししています。

2012 年 10 月より始まった取り組みですが、2019 年度は 65 名が参加しました。岩手県陸前高田市での復旧作業支援・遺留品捜索、宮城県気仙沼市での漁業支援、福島県いわき市での農業支援などを行いました。

「支援」から「応援」、「応援」から「交流」へ。震災の記憶風化が懸念される今だからこそ、今後も継続して取り組みます。



被災地での植樹会協賛

岩手県大槌町と横浜ゴム株式会社が主催する「大槌町『平成の杜』植樹会」は「いのちを守る森の防潮堤」構想のモデルケースとして、2012 年から開催されました。この植樹会に、ゼオンは 2013 年から協賛しました。2015 年の第 4 回目にて植樹会は終了しましたが、植樹会場のメンテナンスと課外授業を通じた地元小中学生への植樹教育に継続して参加しています。

化学教室

「未来のノーベル化学賞受賞者を育成しよう」を合言葉に、子どもたちに化学の面白さを伝えるための化学実験教室を各地で開いています。



RIMTEC 岡山リサーチパーク「おもしろ体験でえ〜」への参加と表彰
2012 年度より岡山大学と共同で行ってきた活動が評価され、一般社団法人日本化学連合主催の「化学コミュニケーション賞 2016」を受賞



ゼオンケミカルズ米沢は、「2019 青少年のための科学の祭典 in 山形」に出展。子ども達と一緒に、色水を含んだ吸水性樹脂に自社製品の合成香料を加えて芳香剤を作りました



日本ゼオン高岡工場では化学実験教室を開催しました

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

教育支援

各事業所・グループ会社では、高校・高専・大学からのインターンシップや、学校からの工場見学の積極的な受け入れ、学校への臨時講師派遣等、教育機関への支援を行っています。



水島工場 工場見学会



タイ Zeon Chemicals (Thailand) Co., Ltd. の地域対話活動

地域イベント開催・参加

各事業所・グループ会社では、夏祭りをはじめとするさまざまなイベントを開催したり、各種の地域行事に積極的に参加したりするなど、地域社会との結びつきを大切にしています。



オプテスでは地元の高校生のインターンシップを受け入れています。



高岡工場主催の納涼会

地域対話

工場では、レスポンシブル・ケア協議会の地域対話への参加、立地自治体や地域住民の方々を招いた見学会などを通じて、環境改善や保安防災などの情報を発信しています。



川崎工場でのレスポンシブル・ケア地域対話会
レスポンシブル・ケア委員会の川崎地区会員企業 8 社と近隣自治会役員を招いて開催



徳山工場主催の和楽踊り

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

地域清掃活動

「役に立ちたい、そして喜んでいただける活動を」との気持ちを込めて、各事業所・グループ会社では、事業所周辺にとどまらず、地域の清掃活動に取り組んでいます。



ゼオンポリミクスは大津市主催の「琵琶湖市民清掃」に毎年参加しています。



高岡工場、オブテス、ゼオンノース、ゼオンメディカルから多くの社員が参加する海岸清掃

地域共生

各地域において、さまざまな共生活動を行っています。



米国 Zeon Chemicals L.P. では、ボランティア活動や寄付活動を長年継続しています。



タイの Zeon Advanced Polymix Co., Ltd.、Zeon Chemicals (Thailand) Co., Ltd. では、清掃ボランティアや寄付活動を長年継続しています。学校・近隣寺院・病院・教育施設などさまざまな団体に寄付をしています。